

第2回理事会開催される《8月25日》

大会以後の報告と秋の取りくみを確認

田中県知事候補の当選をめざして、ガンバロウ！



第2回・理事会は、8月25日（日）、38名の出席で開催され、近藤さん（土浦平和の会）の議長で、熱気のある討議がなされました。会議では延べ51名の理事が発言し、活気のある理事会になりました。

水野代表理事は挨拶で、「田中重博県知事候補は平和委員会の会員でもあり、東海第二原発の再稼働反対を実現するにはうってつけの人」と述べ、「憲法『改正』、集団的自衛権の行使、消費税、TPP問題等、多くの課題があり、情勢は激しく動いているが、すべての課題を一緒に取り組んでいこう」と、訴えました。

この後、木村事務局長が「取りくみ」の経過と「情勢」を報告し、協議にはいりました。

情勢では、松江市内の小・中学校で、「はだしのゲン」が自由に閲覧できなくなった。このような動きを見過ごしてはならない（石岡）、平和行進の参加者は昨年の2,700人を超える延べ3,400人。世界大会には41名が参加した。私たちが被曝の実相を丁寧に知らせると自治体も動く。水戸や土浦、阿見などのいくつかの自治体で、50名以上の小中学生が平和式典に代表派遣されている。15年のNPT会議はニューヨークで開催される。茨城県から30,000名の署名を持っていきたい。（東海）などが出されました。

7～8月の平和パネル展は、全県18ヶ所の平和の会・平和委員会で取り込まれました。シベリヤ抑留展、被爆関係、憲法「改正」反対の3つのテーマで展示し、合わせて憲法問題の学習会も開催した。パネル展だけでなくいろいろな工夫も必要ではないか（水戸西）、会員が集まって話し合い、それぞれが作ったパネルを展示した。このやり方で7年目になる。小学5年生からの感想に「戦争は嫌いです。憲法9条は変えないで下さい」とあった。

（内原・友部）、憲法のパネル展と学習会に取り組んだ。（石岡）、内原満蒙開拓団と原発事故を展示した。5日間で103名が来て、11名がアンケートを出した。15日には平和の鐘を撞いた。

（常陸太田）、原爆と人間のパネル展や被爆者の講演、朗読会、「ガラスのうさぎ」の上映、広島平和式典に参加した小中学生の報告会等をやった。述べ900人が参加した。（土浦）、原爆のパネル、安保問題のDVD上映をやった。5月に結成した会だが、立派な展示ができた（取手・あおぞら）、町の祭りの会場で憲法問題のパネルを展示した。（東海）、シベリヤ抑留と被曝体験の

展示などをやった。今回は市内の小学校の広報員が取材に来た（取手）、市の祭りの会場で「福島の今」の写真を展示した。原発事故の周辺地域や飯館村まで行って、写真を撮ってきて、多くの人に見てもらった。憲法9条の問題も展示した。（北茨城）、市の図書館で憲法問題を展示した。（鹿行）、原爆展と沖縄展をやった。（藤代）、戦争展で広島平和式典に参加した小・中学生の感想文集を配布した。（阿見）、8月3日から11日まで、「憲法9条、96条の改悪反対」の宣伝を市内全域で行った（那珂）など、多彩な活動が報告されました。また、東海町や神栖市のように、自治体独自で原爆被災の展示会を開催する例もあげられました。8月10日に開催された、百里平和盆踊りは30名ほどと少なかったが、今後長く続けていく意思表示もありました。

具体的な取り組みの提起を受け、「新しい仲間づくり」は、1月から39名を迎え、大会で提起した「全体で月に5人の仲間を迎え」ている、7月は12名、8月は11名という状況で、原水禁世界大会に参加した人に加入の訴えをした（東海）、他団体との協力で運動が増えた。その席で加入を進めたらOKしてくれた（鹿行）などの経験が報告されました。また、牛久や下妻に新しい平和の会を結成する、竜ヶ崎や猿島では活動を再開させるなどの取りくみも報告されました。

田中知事候補の当選をめざす取り組みでは、地域の「明るい会」が、土浦、石岡、取手、牛久、常陸大宮、日立、鹿嶋等で結成や再開され、運動を進めています。特に10,000人推薦運動で、美和・緒川や鹿行から、推薦者名簿と多くのカンパが寄せられました。田中候補は素晴らしい候補者であるが、知名度は圧倒的に少ない、短い期間ではあるが、田中候補の名前を宣伝することの重要性を確認しました。

東海村を主体にした「東海第二原発の廃炉」の運動では、事務局と東海村平和委員会、県北グループを中心に取り組みを強化し、「できることから取り組んでいく」ことを確認しました。

秋の平和宣伝活動の主題では、「憲法9条改悪と集団的自衛権」「沖縄米軍基地撤去とオスプレイ配備拒否」「東海第二原発の廃炉」から、理事会の意見をもとに、代表理事懇談会などで決定していくことしました。平和ワインの普及、新聞意見広告の取り組みなどは、事務局の提案を確認しました。最後に、植田さんの閉会挨拶を受け、4時半に終了しました。

2013年日本平和大会

岩国市で11月開催！！

日本平和大会のパンフが入荷しました

1部 300円

2013年日本平和大会は、11月15日（金）～17（日）、山口県岩国市で開催されます。

実行委員会は「憲法をいかに平和なアジアを」学習パンフレットを発行しました。

パンフレットは総カラー・28ページ。300円。地域や職場で学習に活用しましょう。



歓迎！新入会員のみなさんです。
よろしくお願ひします。

- 高 哲也 さん（石岡市）
- 富田 仁民 さん（つくばみらい市）
- 鴻巣 征洋 さん（つくばみらい市）
- 青木 栄子 さん（下妻市）
- 花島 進 さん（那珂市）
- 真山 策功 さん（土浦市）
- 石橋 律子 さん（小美玉市）
- 佐藤 厚子 さん（鹿嶋市）
- 横沢 正芳 さん（水戸市）
- 植田 健一郎 さん（石岡市）
- 間宮 美知子 さん（つくばみらい市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2013年9月5日（木曜日）

2026号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円） 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版

No. 664
2013/9/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

2013年8月26日

防衛大臣 小野寺 五典 殿
百里基地司令 大浦 弘容 殿

百里基地反対同盟
茨城県平和委員会理事会

「ブルーインパルス」訓練の 即時中止を要請します

百里基地で、ブルーインパルスが、8月27日（火）から、9月13日（金）まで、17日間の訓練をするといひます。ブルーインパルスは、6機編隊の「アクロバット（曲芸）飛行隊」といわれていますが、実際は高度な戦技研究のための訓練です。極めて危険な飛行訓練であり、事故に至れば多くの人たちを巻き込むことが心配されます。

アクロバット飛行に使われている航空機は、製造メーカーが予想する以上に酷使されています。定期点検等の整備をキチンと行ってもその寿命は相当に短縮されてしまいます。そのため、機体の予想外の場所に金属疲労が現れたり、クラック（ひび割れ）も発生します。

また訓練中には、エンジン停止や失速の警告音が鳴りっ放しの状況もあると聞きます。T-2練習機では、金属疲労により、翼が取れ、墜落したという事故もありました。T-4練習機でも実態は同じと考えられます。

ブルーインパルス機の墜落事故は過去3件発生しています。

1882年11月14日の、浜松基地航空祭の事故では、市内民家の近くに墜落し、パイロット殉職1名、地上の民間人にも12名負傷者が出る大事故になりました。



【8月26日
百里基地正門前】

1991年7月4日、金華山沖で訓練していた4機のうち、2機が墜落しました。

2000年には、同じ7月4日、金華山沖で訓練を終えて帰投する途中、5番機と6番機が墜落し、3名が殉職しています。この事故は、墜落地点が女川原子力発電所に近い地域でした。女川原子力発電所の半径3.6kmに設定されていた「飛行禁止区域」を掠めて飛んでいたことも問題となったことは、記憶に新しいところです。

ここ百里基地でも、近くに東海第二原発があります。想定できないことが事故の本質です。東海第二原発周辺も訓練空域に入っていますから、東海第二原発に墜落するという可能性を考えないわけにはいきません。また茨城空港は、民間航空機が離発着しています。万が一の場合、多くの乗員を事故に巻き込む心配も出てきます。

飛行訓練ならば、実際の航空祭同様の条件で訓練することが高い訓練効果を得られます。たぶん、基地上空での訓練飛行もあるでしょう。茨城空港を使用している民間機の安全に重大な危険を生じます。絶対にやめるべきです。

百里基地周辺の住民は戦闘機訓練の騒音で毎日悩まされており、多くの住民はこれ以上の騒音に耐えられません。百里基地周辺の住民を、騒音と墜落の心配でさらに苦しめることは許せません。ブルーインパルス訓練の即時中止を要請します。早急に善処して下さい。

「基地で異変が」といった映像が映っていたことでしょう。慌てて防衛省から百里基地に緊急連絡があったかも知れませんが、最初から基地側は監視カメラで覗いていましたから、あれは「盆踊りですよー」と羨ましそうに答えたことでしょう。

盆踊りはもちろんのこと、かき氷、スイカ、ビールなどに舌鼓をうちつつ、夕方6時から集まってきた参加者は、夜の9時まで百里平和公園の夜を満喫しました。県知事選候補者の田中重博さんも忙しい中、駆けつけていただき、県知事選への抱負を熱く語り、大いに盛り上がりました。

茨城県での夏の楽しい平和イベントにしたい、との願いから昨年始まった「百里平和盆踊り」。今年も6月から実行委員会を

【シリーズ】わが街・わが会員

取手市／堀江 裕一郎さん（あおぞら平和の会）

我が子に平和な社会を



現在、1歳の娘がおります。

大きなケガや病気はなく順調に育っており、しゃべれる言葉が増えてきて会話のやりとりが楽しくなってきました。仕事から帰ってくると、満面の笑みで「パパ！パパ！」と迎えに来てくれて、その笑顔にとても癒され、毎日の励みとなっております。

最近では自己主張が強くなってきて、自分の思い通りにならないことがあると癪癪を起すこともあり、毎日悪戦苦闘しながら子育てをしています。

父親として、子供のかわいさや大変さを日々実感しており、このまま元気にすくすくと育って欲しいと願っています。自分自身も、この子の為に元気で働き続けていきたい。

先の選挙では自民党が大躍進し、改憲への道が現実味を帯びてきており、平和が脅かされています。この子が大人になるころに戦争するような国になってしまっては困ります。そうさせないためにも今ここでがんばって憲法を守りぬかねばならないと思います。また、子をもつ親として、この子の未来に危険な原発はいらないと心から願います。

そのためにも、原発再稼働を許さず、憲法を守る運動を広げていかなければならないと決意しています。

組織して準備してきました。今回から団体3千円、個人千円の賛助金をいただいて、名前を書いた提灯を櫓から吊り下げました。まだまだ提灯スペースに空きがありますので、来年に向けてもっともっと増やしていく予定です、賛同と参加をお願いいたします。

今年49回目を迎えた「北海道矢白別の平和盆踊り」の広がりや参加者数にはまだまだ及びませんが、小さく産んで大きく育てていきます。来年をお楽しみに！もちろん、9月の平和農園の稲刈り、2月の初午まつりもお忘れなく。

第二回 百里盆おどい

栗又 衛
（百里平和委員会）



熱い、暑い、篤い、8月10日（土）の夕べ、百里基地のど真ん中には、60個の提灯が輝き、「炭坑節」が響き渡りました。米国と中国の偵察衛星、日本の情報収集衛星には、